



JAF公認準国内競技
公認番号 2022-5040



2022年JAF九州ラリー選手権 第6戦
2022年JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ 第6戦

EAST九州2022

特 別 規 則 書

開催日：2022年10月1日(土)～2022年10月2日(日) 2日間

協賛各社

ダンロップタイヤ九州

アルテックレーシング

オートテックK&K13

トランスポートサービス・ミエノ

ファミリー損保サービス

豊智学館

広瀬自動車

オーガナイザー	ラリークラブオオイタ	(RC-大分)
協カクラブ	チーム・オブ・プランタン	(PURANTAN)
協カクラブ	ルート・10・延岡	(R-10-N)

[公 示]

本競技会は、一般社団法人日本自動車連盟(JAF)の公認のもとに、FIA国際モータースポーツ競技規則およびその付則に準拠した日本自動車連盟(JAF)の国内競技規則とその細則、2022年日本ラリー選手権規定、ラリー競技開催規定および2022年JMRC九州ラリー統一規則、及び本競技会特別規則に従い開催される。

第1条 プログラム

項 目	日 時	場 所
参加申込の開始日	2022年9月1日(木)	大会事務局
参加申込の締切日	2022年9月23日(金・祝)	大会事務局
2022年10月1日(土)		
サービスパークオープン	12:00~17:00	蓮城寺駐車場
ラリーHQの開設時間	12:30~17:00	同 上
公式掲示板設置時間	12:30~17:00	HQ (蓮城寺駐車場内)
公式参加受付及びレッキ受付	13:00~14:00	HQ (")
ロードブック発行	13:00~14:00	HQ (")
レッキ	13:45~16:00	
公式車両検査	15:30~16:40	サービスパーク
2022年10月2日(日)		
サービスパークオープン	06:00~17:30	蓮城寺駐車場
ラリーHQの開設時間	06:00~17:30	同 上
公式掲示板設置時間	07:00~17:30	HQ (蓮城寺駐車場内)
サービス受付	07:00~	HQ (")
第1回審査委員会	07:00~	HQ (")
スタートリスト公示	07:05	公式掲示板
開会式・ブリーフィング	07:30~	HQテント前
レグ1スタート	08:00	サービスパーク
ラリーフィニッシュ(先頭車)	15:22(予定)	サービスパーク
暫定結果の発表	16:00(予定)	公式掲示板
表彰式	16:30(予定)	HQテント前

第2条 競技会の名称

2022年JAF九州ラリー選手権第6戦
2022年JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ第6戦
「EAST九州2022」

第3条 競技の格式

JAF公認:準国内競技 JAF公認番号:2022-5040

第4条 競技種目

ラリー競技開催規定の細則「スペシャルステージラリー開催規定」に従った
スペシャルステージラリー

第5条 開催日程及び競技開催場所

2022年10月1日(土)	
場 所	豊後大野市蓮城寺駐車場を起点とする一般道及び占有道路
競 技 会 H Q	豊後大野市蓮城寺駐車場 大分県豊後大野市三重町内山527
レッキ集合場所 サービスパーク	上に同じ(サービスパーク及びHQLレイアウトについては付則に示す)
2022年10月2日(日)	
場 所	豊後大野市蓮城寺駐車場を起点とする一般道及び占有道路
競 技 会 H Q	豊後大野市蓮城寺駐車場 大分県豊後大野市三重町内山527
サービスパーク及び ラリースタート ゴール 表彰式会場	上に同じ(サービスパーク及びHQLレイアウトについては付則に示す)

第6条 コース・距離・路面

	選手権・オープンクラス
コースの総走行距離	約140Km
スペシャルステージの総距離	約27Km
スペシャルステージの数	4本
スペシャルステージの路面	舗装
セクションの数	2
レグの数	1

第7条 オーガナイザー

名 称 JAF加盟クラブ ラリークラブオオイタ(RC-大分)
所 在 地 〒870-0929 大分市長谷町2-1 有限会社ファミリー損保サービス内
代 表 者 早田 卓
T E L 090-3602-2343 E - m a i l soda@family-s.jp

第8条 組織

8.1大会役員

大会会長 羽田野 道明 (JMRC九州理事)

組織委員長 早田 卓 (RC-大分)

組織委員 山崎 重夫 (RC-大分)

組織委員 藤本 鋼二 (RC-大分)

8.2競技会役員

1)競技会審査委員会

競技会審査委員長 村瀬 晴信 (JMRC九州派遣)

競技会審査委員 高村 雄太 (RC-大分)

2)競技役員

競技長 日高 豊 (RC-大分) 副競技長 稲垣 歩 (RC-大分)

コース委員長 豊田 智孝 (RC-大分) 計時委員長 三戸 利孝 (RC-大分)

技術委員長 廣瀬 晃 (RC-大分) 救急委員長 山崎 重夫 (RC-大分)

事務局長 江河 裕太 (RC-大分)

第9条 参加申込受付期間

受付開始日 2022年9月 1日(木)

受付締切日 2022年9月23日(金・祝)

第10条 参加申込及び問い合わせ先 (大会事務局)

所在地 〒870-0929 大分市長谷町2-1 有限会社ファミリー損保サービス内
ラリークラブオオイタ 大会事務局

担当者 早田 卓

T E L 090-3602-2343 F A X 097-554-6532

E - m a i l soda@family-s.jp

第11条 参加申込方法

1)申込場所 第10条に同じ

- 2)提出書類
- ① JMRC九州統一ラリー競技参加申込書
 - ② ラリー競技に有効な対人賠償保険、傷害保険の証券または領収証の写し(補償内容がわかるもの)、又はJMRC九州共済ラリー特約申込書
 - ③ 自動車検査証の写し
 - ④ ドライバー・コドライバーの運転免許証・ライセンス・共済カード(両面)の写し
 - ⑤ コースレッキ参加申込書
 - ⑥ サービス車両登録申込書
 - ⑦ 入金明細書
 - ⑧ 振込票の写し(⑦の入金明細書に貼付のこと)
 - ⑨ 学生の場合は学生証の写し
 - ⑩ 誓約書(自署)公式参加確認時にHQへ持参すること

3) 申込方法 参加受付期間内に上記提出書類(⑩以外)に必要事項を記入の上、下記いずれかの方法で大会事務局まで提出すること。

1) 下記アドレスへ提出書類をEメールにて送付する。

Eメールアドレス:soda@family-s.jp

※参加申込受理通知の返信がない場合は大会事務局に確認すること。

2) 大会事務局宛提出書類を郵送する。

4) 振込口座 【金融機関名】 ゆうちょ銀行

ゆうちょ銀行より

【記号-番号】

17270-24947441

【口座名義】 ラリークラブオオイタ

他金融機関より

【支店】 七二八(ナナニハチ)

【預金科目】 普通預金

【口座番号】 2494744

【口座名義】 ラリークラブオオイタ

※振込手数料は参加者負担とする。

5) 上記にて受け付けした参加料は、次の場合を除き返還しない。

① 本競技会が不可抗力の為に取り止めになった時。

② 受付期間中に参加者が取消を申請した時。

③ 組織委員会は国内競技規則4-19に従い参加者に対しては理由を示すことなく参加を拒否することができる。この場合、参加料は返却手数料1,000円を差し引き返還する。

6) 参加受理の諾否はJMRC九州ホームページ上にて当該週にエントリーリストを発行することで受理書に換える。

第12条 参加料等

① 参加料	
RH 1, 2, 3, 4 クラス	1台 40,000円 (レッキ参加料を含まない)
RH 5, 6 クラス	1台 30,000円 (レッキ参加料を含まない)
オープンクラス	1台 30,000円 (レッキ参加料を含まない)
②レッキ参加料	1台 2,000円
③サービス車両登録料	1台 2,000円
④JMRC九州共済ラリー特約 (加入希望者)	1台 5,000円 (JMRC九州会員のみ)
《参加料の割引について》	
JAF九州地域クラブ協議会会則第16条・JAF九州ラリー選手権JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ規定のフレッシュマン規定細則、ならびに付則規約第4条5に準じる。	

第13条 保険

2022年日本ラリー選手権規定第18条に基づき、ラリー競技に有効な対人賠償保険ならびに搭乗者保険(1,000万円以上)、またはJMRC共済ラリー特約(ドライバー、コドライバー共にJMRC共済への加入が義務)に加入していること。

第14条 音量規制

2022年JAF九州ラリー選手権・JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ規定
JMRC九州2022モータースポーツハンドブックP37記載の
2022年JMRC九州ラリー、シリーズ車両規定について③の排気系マフラーに準ずる。

第15条 参加台数

本競技会の総参加台数は合計60台までとする。

第16条 レッキの実施方法

	項目	選手権クラス・オープンクラス
1)	レッキ参加確認日時	2022年10月 1日(土) 13:00~14:00
2)	レッキ参加確認場所	HQ: 豊後大野市蓮城寺駐車場 大分県豊後大野市三重町内山527
3)	スケジュール	13:45~16:00 クルーは各スペシャルステージを2回走行できる。同じ区間を重複使用するスペシャルステージは、1ヶ所で2回の走行とする。但し、必ず2回走行することを保障するものではない。
4)	ルール	実施詳細はレッキ指示書に示す。
5)	遵守事項	レッキの間、競技者は交通法規を遵守し、いかなる場合にも他の道路使用者の安全と権利を尊重しなければならない。

第17条 参加車両

- 1) 地方選手権・九州ラリーチャンピオンシリーズに参加できる車両については、2022年日本ラリー選手権規定第13条に従ったRRN、RJ、RPN、RFまたはAE車両であること。過給機付き車両のエアリストラクター(最大内径33mm)の装着は任意とする(未装着の場合、エンジン・ECUはノーマル)、RPN車両の年次制限は行わない。
- 2) オープンクラスに参加できる車両は、当該年JAF国内競技車両規則第2編ラリー車両規定に従ったRRN、RJ、RPN、RFまたはAE車両とする。

第18条 クラス区分

1) 九州ラリー選手権・九州チャンピオンシリーズ

- RH1クラス : 気筒容積2, 500ccを超えるラリー車両(RJ、RF、RPN車両)および気筒容積区分なしのRRN車両
- RH2クラス : 気筒容積1, 500ccを超え2, 500cc以下のラリー車両(RJ、RF、RPN車両)
- RH3クラス : 気筒容積1, 500cc以下のRJ車両、RF車両
- RH4クラス : 気筒容積1, 500cc以下の2輪駆動のRPN車両
- RH5クラス : 気筒容積区分なしのAT限定のラリー車両(RJ、RF、RPN車両)
- RH6クラス : 気筒容積1, 500cc以下の前輪駆動のAT限定のラリー車両(RJ、RF、RPN車両)およびAE車両(AT限定)

2) オープンクラス

気筒容積・駆動方式区分なし

第19条 参加資格

- 1) 競技参加者(ドライバー、コドライバー)は競技中に有効な(1,000万以上)の傷害保険証(コピー可)又は、全国共同共済加入のJMRC九州が発給した当該年度有効のメンバーズカードを持参すること。
- 2) 1台の車両に乗車する人員はドライバー、コドライバーの2名とする。
- 3) ドライバー、コドライバーは2022年JAF競技運転者許可証国内B以上の所持者であること。
- 4) ドライバー、コドライバーは本競技会の参加申込み締切り時点において、参加車両を運転するにあたり有効な運転免許証を取得していること。

第20条 タイヤ・ホイール

2022年JAF九州ラリー選手権・JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ規定
JMRC九州2022モータースポーツハンドブックP36記載の
2022年JMRC九州ラリー、シリーズ車両規定について②のタイヤ・ホイールに準じる。

第21条 タイムコントロール

- 1) 公式時刻は日本標準時を基準とした競技会計時委員の計時による。
- 2) TC4Aは早着ペナルティーの対象としない。

第22条 スペシャルステージ(スタート及び計時)

- 1) 自動計測器を使用し、1/10秒まで計測する。
- 2) スタートは原則スタートリスト順または直前のTC通過順に1分間隔とする。
- 3) スタートの方法および合図は、ラリー競技開催規定細則:スペシャルステージラリー開催規定第25条.6に従って行い、カウントダウンシステム(フライングチェック機能も含む)を使用する。

第23条 整備作業

- 1) サービス登録車両及び登録されたサービスメンバーによる整備作業は、技術委員長の監督下において定められた場所でのみ認められる。
- 2) 整備作業を行うことができる者は、当該車両のクルー及び登録されたサービスメンバーのみとする。
- 3) サービス登録車両はオーガナイザーが発行するサービス車両ゼッケンを定められた場所に貼付しなければならない。また、サービスパークに入場できる車両は登録車両及び競技車両のみとする。

第24条 参加者に対する指示及び公示(公式通知)

- 1) 競技会審査委員会は国内競技規則4-9および10-10に従って、公式通知をもって参加者に指示を与えることができる。
- 2) 本規則書に記載されていない競技運営に関する細則並びに指示事項は、公式通知によって指示される。

第25条 公式参加受付

下記の書類を参加受付時に提示すること。

- ①ドライバー及びコドライバーの自動車運転免許証および競技運転者許可証
- ②自動車検査証
- ③自動車損害賠償責任保険証
- ④ラリー競技に有効な対人賠償保険証及び搭乗者保険証(またはJMRC共済メンバーズカード)

第26条 クルー及び参加車両の変更

- 1) 正式参加受理後のクルー及び参加車両の変更は認められない。但し、コドライバー及び参加車両の変更は公式参加受付終了前までに理由を付した文書が提出され、競技会審査委員会が認めた場合はこの限りではない。
- 2) 参加クラスの変更を伴う参加車両変更は認められない。

第27条 安全装備

- 1) 安全ベルトは必ず装着し、2022年JAF国内競技車両規則第4編細則「ラリー競技に参加するクルーの装備品に関する細則」に従ったヘルメットおよびレーシングスーツを着用すること。オープンクラスについてもレーシングスーツの着用が望ましいが、準備できない場合は長袖長ズボンを必ず着用すること。
- 2) 非常用停止表示版(三角)2枚、非常用信号灯、赤色灯、牽引用ロープ、救急薬品及び車両規定に定められている仕様の消火器を必ず搭載していること。非常用停止表示版(三角)2枚は容易に(着座した状態で工具を使用する事無く)取り外せる場所に設置すること。
- 3) OK,SOSマークを各クルーは必ず所持すること。(サイズ A3判)

第28条 車両検査

- 1) 全ての競技車両は、本規則に定めた場所及び時間に公式車両検査を受けなければならない。車両検査結果が不相当と判断された車両および競技参加者は、本競技会に参加できない。
- 2) 公式車両検査は第20、27条の各内容に従って実施される。
- 3) 公式車両検査後及び競技終了後、完走した車両は入賞者の再車検終了までオーガナイザーが指定した場所において車両保管をされる。オーガナイザーの許可なしに車両の移動、調整、修理等はできない。
- 4) 参加車両はオーガナイザーが決めたゼッケン・ステッカー等を指定の位置に貼付すること。
- 5) 参加者は競技の最終タイムコントロール通過後直ちに競技車両を車両保管場所に進入させ下記の確認(再車両検査)を受けること。
- 6) 出走前に公式車両検査を受けた車両と同一であること。
- 7) 罰則の対象となる要因の有無。
- 8) マーキングや封印等を実施した場合は、それが保持されているかどうかの確認。
- 9) 参加者は技術委員長の求めがあれば、各自の参加車両が車両規定に適合している旨を証明する為、車両規定に定める証明資料等を提示証明しなければならない。
- 10) 競技会審査委員会又は競技会技術委員長が必要と判断した場合、もしくは抗議の内容により必要と判断される場合、オーガナイザーは分解を伴う再車検を行う。この際、必要な人員・部品工具等の費用は当該参加者の負担とする。

第29条 ブリーフィング

- 1) ドライバーズブリーフィングはスタート会場にて行う。
- 2) すべての乗員及び競技参加者は必ずブリーフィングに出席しなければならない。
- 3) ブリーフィング出席の署名をもって出走確認とする。尚、署名時に健康管理カードを提出すること。

第30条 給油

競技中の給油はオーガナイザーより指定された給油所以外での給油は認められない。

第31条 整備作業の範囲

- 1) 整備作業の範囲は以下の通りとする。

・タイヤ交換	・ランプ類のバルブ交換	・点火プラグの交換
・Vベルトの交換	・各部点検増締め	
- 2) 上記以外の整備については、必ず作業前に「整備作業申告書」を提出し、技術委員長の許可を得なければならない。
- 3) 整備作業実施後は、技術委員長の確認を受けるものとする。
- 4) 整備作業の実施にあたっては、他の通行及び作業員の安全確保に十分留意して行うこと。

第32条 リタイヤ

- 1) 競技会の途中で競技を棄権する場合、また以降競技に出場しない場合、その旨を書面にて競技役員に申し出て棄権しなければならない。
- 2) 競技から離脱した場合は、速やかに最寄の競技役員にリタイヤ届を提出すること。提出が困難な場合は電話等の手段で競技会事務局に連絡すること。
- 3) リタイヤ又は失格となった場合は、直ちにゼッケン・ラリー競技会之証及びその他の競技会関係貼付物を取り除くこと。

第33条 競技結果

競技結果は、スペシャルステージで記録された所要時間とロードセクション、その他で課せられたペナルティタイムを合計して決定する。

第34条 賞典

・選手	権	クラス	1位～3位	JAFメダル、楯	副賞
			4位～6位	副賞	
・オープンクラス			1位～3位	副賞	

※参加台数の少ないクラスにおいては賞典を制限する場合がある

第35条 抗議

- 1) 参加者は自分が不当に処遇されていると判断した場合、国内競技規則第12条に従い、抗議する権利を有する。ただし、自分の参加拒否ならびに競技会審判員の判定に対する抗議はできない。
- 2) 抗議はその理由を具体的に記述し、所定の抗議料を添え、文書により競技長に提出するものとする。抗議料はその抗議が正当と裁定された場合のみ返還される。
- 3) 競技会審査委員会の裁定は、抗議者に宣告される。
- 4) タイムカードに関する異議申し立てはその場で直ちに行い、現場の責任者の判定を最終とし、これに対する抗議は受け付けない。
- 5) 抗議が正当と裁定されなかった場合、必要経費は(作業料、運搬費用等)全てを抗議者が負担するものとする。
- 6) 競技に関する抗議はフィニッシュ後30分以内、成績に対する抗議は暫定結果発表後30分以内に行なければならない、競技会技術委員長の決定に関する抗議は、決定直後に提出しなければならない。

第36条 損害の補償

- 1) 参加者及び競技運転者は、参加車両及び付属品の損傷・盗難・紛失等の損害及び会場の施設・器物を破損させた場合の補償等、理由の如何に関わらず各自が責任を負わなければならない。
- 2) 参加者及び競技運転者は、JAF及びオーガナイザーの大会役員・競技役員が一切の損害賠償責任を免除されていることを了承していなければならない。即ち、競技役員はその役務に最善を尽くすのは無論であるが、その役務遂行に起因するものであっても参加者・競技運転者・サービス員・観客・大会関係者の死亡・負傷・車両損害に対して一切の損害賠償責任を負わないものとする。

第37条 競技会の成立、延期、中止、または短縮

- 1) 保安上または不可抗力による事情が生じた場合は、審査委員会の決定によって競技会の開催を中止、延期、又はコースの短縮を行うことがある。又、中止・再競技の場合の日時は公式通知をもって公表する。
- 2) 競技の進行が、すべての参加者に対して不可能、又は著しい障害になったとき、又は他に及ぼす影響等で競技の続行ができなくなった場合、審査委員会の決定によって、打ち切り、及び特定区間の中断がなされる。その場合コース上の競技役員によって指示、又は対策を指示する。
- 3) 競技が打ち切りになった場合の成績は、競技打ち切り時点におけるものとする。

第38条 本統一規則の解釈

競技会中に本統一規則及び競技に関する諸規則の解釈に疑義が生じた場合は、競技会審査委員会が決定する。

第39条 罰則

- 1)ラリー競技開催規定細則:スペシャルステージラリー開催規定第28条に従う。
- 2)規則違反、または競技役員の指示に対する不遵守は、国内競技規則に記載されている条項に従って罰則が適用される。
- 3)本規則に関する罰則および本規則に定められていない罰則の選択については、競技会審査委員会が決定する。

第40条 本統一規則の施行ならびに記載されていない事項

- 1)本規則書発行後、JAFにより決定されたすべての規定は、本規則書に優先する。
- 2)その他の事項についてはJAF国内競技規則とその細則及びJMRC九州ラリー統一規則書のとおりとする。

「EAST九州2022」大会組織委員会

付則1 アイテナリー

Leg 1 02 October 2022

Version 1.00

TC	Location	SS	Liaison	Total	Target	1st car
SS		Dist	Dist	Dist	Time	due
0	スタート					8:00
1	登山口		15.76	15.76	0:35	8:35
SS1	SAKURA 1	6.86				8:38
2	登山口		12.49	19.35	1:30	10:08
SS2	SAKURA 2	6.86				10:11
2A	サービスパーク入口		27.74	34.60	1:00	11:11
	サービス	(13.72)	(55.99)	(69.71)	0:40	
2B	サービスパーク出口/リグループ入場					11:51
2C	リグループ退場					12:01
	RZ 給油 (ENEOS佐藤石油清川SS)		(7.04)			
	(スタート~給油)	(13.72)	(63.03)	(76.75)		
	(給油~フィニッシュ)	(13.26)	(49.18)	(62.44)		
3	中山		27.75	27.75	1:05	13:06
SS3	SAKURA Reverse 1	6.63				13:09
4	中山		12.61	19.24	1:30	14:39
SS4	SAKURA Reverse 2	6.63				14:42
4A	ラリーフィニッシュ/パルクフェルメ入場		15.86	22.49	0:40	15:22
Leg1 Total		26.98	112.21	139.19		

Section 1

Section 2

※TC4A は早着ペナルティーの対象外とする。
 ※上記は参加台数60台で設定したものである。

付則2 会場見取り図



付則3 スタートシグナルの表示について

30秒前	15秒前	10秒前
5秒前	1秒前	スタート

このシステムが故障した場合は、クルーに十分聞こえる声で30秒前→15秒前→10秒前→5→4→3→2→1の順にカウントダウンする。

付則4 ゼッケン等の貼付場所

ゼッケンは左右フロントドアに貼付けること。また、ラリー競技会之証は左リヤガラスに貼付けること。